

令和3（2021）年4月1日～

令和4（2022）年3月31日

日本財団助成事業 「聴覚障害者のための キャリアサポートセンターの設置」

（事業ID：2020556383）

令和3（2021）年度活動報告書



当事業ホームページはこちら！

⇒ <https://tsukutech-social.net/site/>



【目次】

1. 日本財団助成事業「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」の概要

(1) 背景	1
(2) 当事業の目的	1
(3) 事業担当者	2
(4) 事業計画（全体）	2
(5) 事業計画（令和3年度）	3

2. 実情調査の実施

(1) 筑波技術大学卒業生へのヒアリング調査	4
(2) 他大学へのヒアリング	4

3. 聴覚障害者の就労に関する支援

(1) 社会人聴覚障害者への支援	5
(2) 聴覚障害学生への支援	8
(3) 企業への支援	10

4. 拠点の整備

(1) 当事業ホームページの拡充	12
(2) SNSの活用	12

5. 令和4年度事業について

13

1. 日本財団助成事業「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」の概要

(1) 背景

大学へ進学する障害学生数が増加傾向にある昨今、在学中の修学支援については、個々の大学における障害学生支援室の設置や筑波技術大学に事務局を置く日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)をはじめとした大学間連携体制の構築が着々と進められてきました。しかし、卒業後を見据えたキャリア支援の取り組みは緒に就いたばかりで、特に、コミュニケーションに不自由さがある聴覚障害学生の利用を見込んで情報保障等の体制を整備しているサービスは、ほとんど見られません。聴覚障害学生が長期的なキャリアを見据えて進路選択をするための情報やロールモデル、就職後に悩みを共有する場、積極的なキャリアアップを目指す際の学びの場が不十分であるために、職務内容や職場環境とのミスマッチが生じ、短期間での離転職を余儀なくされるケースも少なくありません。

そこで、聴覚・視覚障害者を高度専門職業人として養成する使命を長年担ってきた本学として、学校卒業後の聴覚障害者のキャリア支援に関する取り組みを全国的に強化していく役割を担うべく、2019(平成31)年度～2023(令和5)年度の5カ年計画を構想し日本財団助成事業「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」を受託いたしました。

(2) 当事業の目的

当事業では、聴覚障害学生が自らの進路を積極的に選択できるための情報や機会の提供、就職後の負担を低減するための職場環境設定の提案、大学卒業後も学び続けられる場の整備などを通じて、多面的なキャリアサポート支援体制を構築することを目標としています。

<中長期的目標(2023年度の事業完了時まで)>

筑波技術大学ならびに全国3箇所に置かれた拠点大学等に聴覚障害者ライフ&キャリアサポートセンター(以下サポートセンター)(仮称)を設置します。サポートセンターには聴覚障害当事者を含む相談員を配置し、ここを拠点に聴覚障害のある社会人と現役学生、企業を繋ぐための相談・コンサルティング、各種セミナー開催等を行います。

<最終目標>

拠点ネットワークを全国に拡大し、すべての地域でサポートセンターを利用できる体制を構築します。聴覚障害学生が長期のインターンシップ経験を元に大学での学びを深められる支援モデルの提案・導入、小中学校・高等学校の児童生徒に対する幼少期からのキャリア教育の実践、職場における情報保障体制の提案等を通して、聴覚障害者が幼少期から将来社会で働く自分をイメージしながらキャリアを積み重ね、その力を職場等で発揮できる社会の実現を目指します。

(3) 事業担当者

河野 純大 : 筑波技術大学 産業技術学部 准教授 (当事業責任者)
 加藤 伸子 : 筑波技術大学 産業技術学部 教授
 白澤 麻弓 : 筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 准教授
 小林 彰夫 : 筑波技術大学 産業技術学部 准教授
 安 啓一 : 筑波技術大学 産業技術学部 講師
 横井 聖宏 : 筑波技術大学 産業技術学部 助教
 後藤 由紀子 : 筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 助教
 田中 陽土 : 筑波技術大学 産業技術学部 研究員

(4) 事業計画 (全体)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
調査	・卒業生/社会人聴覚障害者を対象としたニーズ調査 ・海外視察調査 (RIT、ギャローデット等)	・他大学へのヒアリング (PEPNet-Japan 情報交換会)	・企業に対するヒアリング		
センター整備	・サポートセンター設置準備室の開設 ・オフィスの確保 ・人員の配置	・サポートセンターの開設 ・遠隔システム導入	・サポートセンター本格始動 ・人員の増員		
サテライトオフィス整備	・オフィスの確保 ・環境整備	・サテライトオフィス開設 ・遠隔システム導入	・サテライトオフィス本格始動		
Webサイト整備	・サーバー設置 ・HP 開設 ・SNS サイト構築に向けた準備	・SNS サイト開発	・保守メンテナンス ・機能拡充	・保守メンテナンス ・機能拡充	・保守メンテナンス ・機能拡充
社会人対象事業	・相談窓口の開設 ・カタリバの開設 ・サポート講座の開催 (いずれも不定期)	・相談窓口の開設(週 2) ・カタリバの開設(月 1) ・サポート講座の開催 (定期)	・相談窓口の開設(週 5) ・カタリバの開設(月 1) ・サポート講座の開催 (定期) ・教材作成	・相談窓口の開設(週 5) ・カタリバの開設(月 1) ・サポート講座の開催 (定期) ・教材作成	・相談窓口の開設(週 5) ・カタリバの開設(月 1) ・サポート講座の開催 (定期) ・教材作成
学生対象事業	・先輩の話を聞く会 (ランチトーク) ・会社説明会/集団面接の実施	・相談窓口の開設 ・キャリア支援セミナーの開講 ・会社説明会/集団面接の開催	・相談窓口の開設 ・キャリア支援セミナーの開講 ・会社説明会/集団面接の開催 ・インターンシップ拡充	・相談窓口の開設 ・キャリア支援セミナーの開講 ・会社説明会/集団面接の開催 ・インターンシップ拡充	・相談窓口の開設 ・キャリア支援セミナーの開講 ・会社説明会/集団面接の開催 ・インターンシップ拡充
企業対象事業			・企業向け相談窓口の開設 ・上記ヒアリングを通じた情報交換	・企業向け相談窓口の開設 ・企業向けセミナーの開催	・企業向け相談窓口の開設 ・企業向けセミナーの開催
他大学拠点整備		・上記ヒアリングを通じた情報交換	・支援拠点形成に向けた協議開始	・全国 3 か所に支援拠点設置準備室開設 ・相談窓口の開設 ・人員の配置 ・サポート講座開催	・全国拠点始動 ・相談窓口開設 ・サポート講座開催 ・キャリア支援セミナー a の開講

なお、この計画は 2018 年度に行った当事業の助成申請時に作成したものであり、社会情勢の変化や事業の進捗状況等によって一部変更となる可能性があります。

(5) 事業計画 (2021 年度)

	内容	対象・方法	実施時期 (目安)
1.実態調査の実施	ヒアリング調査	対象： PEPNet-Japan 正会員大学から選んだ3大学 筑波技術大学卒業生10名 企業3社	6~1月
2.拠点の整備	(1)つくば・東京 オフィスの運用	筑波技術大学内拠点の運用・サテライトオフィス ならびに相談窓口の運用	通年
	(2)SNSの運用	SNSサイトなどのポータルサイトの整備と運用	通年
	(3)卒業生情報管理 システムの作成	筑波技術大学の卒業生情報を一括管理するシス テムを作り、当事業の支援対象者・協力者として 登録する	~3月
3.社会人聴覚障害者 対象事業の実施	(1)相談窓口の開設		通年
	(2)カタリバの開設		通年
	(3)ライフ&キャリアサポート講座の開講		6月/8月/10 月/12月/2月
	(4)教材作成		通年
4.現役聴覚障害学生 対象事業の実施	(1)キャリア支援セミナーの開講		8月/9月/2月
	(2)先輩の話を聞く会の開催		8月/9月
	(3)合同企業説明会の開催		5月
	(4)インターンシップの拡充に関する検討		通年
5.企業対象事業の 実施	(1)企業向け理解啓発セミナー		12月
	(2)合同企業説明会の開催		5月
	(3)ホームページからの相談受付		通年

2. 実情調査の実施

(1) 筑波技術大学卒業生へのヒアリング調査

2022年3月に、2名の筑波技術大学卒業生にヒアリング調査を行いました。
本調査は2022年度にかけて継続し、結果の分析が終わり次第、公表します。

(2) 他大学へのヒアリング

2021年7月にかけて、他大学1校（関西圏の私立大学）にヒアリング調査を行いました。内容は以下の通りです。

【ヒアリング回答者の属性】

障害学生支援室職員 1名

【ヒアリング内容】

- ① 聴覚障害者のキャリア支援実施状況について
 - ➡ 現役学生向けに、年1回、障害者の就労支援を行う企業を講師として「障害学生向けキャリアセミナー」を開催し、障害の自己理解等に関する講習を実施している。
- ② 今後の当事業における連携について
 - ➡ 講座や相談会等への講師派遣、イベントの共催、会場提供等が考えられるが、具体的な提案を受けてから学内の調整を進めていくことになる。

次年度も引き続き、他大学も含めて今後の当事業との連携等に向けたヒアリング・相談を進めていきます。

(3) 企業へのヒアリング

コロナ禍による繁忙等で協力企業を見つけることが難しかったため、次年度の継続課題とします。

3. 聴覚障害者の就労に関する支援

(1) 社会人聴覚障害者への支援

① 相談対応

筑波技術大学教員、他常勤のキャリアコンサルタント等が相談対応を行っております。
つくば拠点、サテライトオフィスでの対面相談の他、メール相談も受け付けております。

対応実績： 対面相談 18件
テレビ会議システムを用いた遠隔相談 65件
メール・SNS等を用いた相談 202件
オンライン相談会 2件※

※2021 度の新たな取り組みとして、8月中の平日夜間に2日間、ゲスト相談員の方を招いて「オンラインしごと相談会」を実施しました。ゲスト相談員を聴覚障害当事者であり企業での豊富な勤務経験をお持ちの日下部 隆則（同志社大学 学生支援センター スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室(SDA 室))にご依頼し、計2名の相談対応を行いました。

② 「カタリバ」の開催

「カタリバ」は、聴覚障害のある社会人の方々が働く上での工夫や悩みなどについて、ざっくばらんに“語り”ながら情報交換できる場を提供することを目的としたイベントです。

本年度は下記の4回、オンライン開催いたしました。第1回・第3回は企業等での社会人経験の豊富な聴覚障害当事者の方をゲスト講師としてお招きし、第4回はデフエンジニアの会の協力を得て「ITエンジニアの働き方」というテーマを設けて実施しました。

	開催日程	概要	ゲスト講師	参加者	参加者の参加満足度 (5段階評定)
第1回	2021年 5月29日 14:00～ 17:30	1. ゲスト講師からの話題提供 【情報保障】講師本人が音声で発話+スタッフによる文字通訳 2. グループごとの雑談・情報交換 【情報保障】各自が手話・音声により発話 + スタッフによる文字通訳のフォロー	日下部 隆則氏 (同志社大学 SDA 室)	24名	4.2
第2回	2021年 6月26日 14:00～ 17:00	1. 全体での雑談・情報交換 【情報保障】各自が手話・音声により発話+スタッフによるフォロー	なし	10名	4.5
第3回	2021年 9月25日 14:00～ 17:00	1. ゲスト講師からの話題提供 【情報保障】講師本人が音声・手話で発話+スタッフによる文字通訳 2. グループごとの雑談・情報交換 【情報保障】各自が手話・音声により発話 + スタッフによる文字通訳のフォロー	宮本 治之氏 (慶應義塾 大学病院)	17人	4.6

	開催日程	概要	ゲスト講師	参加者	参加者の参加満足度 (5段階評定)
第4回	2022年 3月12日 14:00~ 17:00	<p>1. ゲストスピーカーによる講話 講話テーマ： 「フルスタックエンジニア 日本からカナダへ」 「カナダから日本へ GAFA 等への就職の道」 「ITのチカラで世界をアクセシブルにしよう」 「ITエンジニアと語ろう~ろう者としての働き方とは」 「フリーランスという働き方」「エンジニアの魅力・働き方」 【情報保障】 スタッフによる手話の読み取り通訳・文字通訳</p> <p>2. 筑波技術大学在學生との交流、グループでの情報交換 【情報保障】 各自が手話・音声により発話+スタッフによる文字通訳</p>	<p>社会人 スピーカー 7名 (デフエンジニアの会)</p>	42名	4.0

第1回カタリバ



第2回カタリバ



第4回カタリバ



③ ライフ&キャリアサポート講座の開講

本年度は、スキルアップ、キャリアアップ、一般教養に関する各種講座・セミナーを計 16 日開催し、のべ 158 名の方にご参加いただきました。

全て Web 会議システム Zoom を用いたオンライン開催で行いました。いずれの回についても参加者への情報保障として手話通訳（講師・ホワイトボードと同画面に配置）と文字通訳（インターネットブラウザ上で閲覧可）を配置しました。

講座・セミナーの具体的な内容等は以下の通りです。

【スキルアップに関する講座】

テーマ	開催日程	概要	講師	受講者	参加者の参加満足度 (5段階評定)
応用情報技術者 試験対策講座	(全4日間) 2021年11月23日 12月1日 12月15日 12月22日	情報処理技術者試験の中の「応用情報技術者試験」に関する重点学習項目の解説・演習	学外講師 1名	4日間 のべ 35名 参加	4.5
TOEIC 試験 対策講座	(全5日間) 2021年11月6日 11月27日 12月11日 2022年1月15日 1月29日	TOEIC 試験の Reading パートに関する解説と演習	学外講師 1名	5日間 のべ 40名 参加	4.7
英文ビジネス メールの書き方 講座	(全2日間) 2022年3月6日 3月13日	英文ビジネスメールの基本的マナー、形式等に関する講義と問題演習	学外講師 1名	2日間 のべ 19名 参加	4.3

【キャリアアップに関する講座】

テーマ	開催日程	概要	講師	受講者	参加者の参加満足度 (5段階評定)
社会保険労務士 試験対策講座	(全2日間) 2021年8月1日 8月8日	国家資格 社会保険労務士の試験直前対策講座 ○法律改正があった箇所等のポイントを押さえた問題演習と解説 等	学外講師 1名	2日間 のべ 21名 参加	4.6

テーマ	開催日程	概要	講師	受講者	参加者の参加満足度 (5段階評定)
ビジネス マネジメント の基礎知識 (ビジネス マネジャー検定試験 対策講座)	(全3日間) 2021年10月16日 10月23日 10月30日	ビジスマネジャー検定試験対策テキストから一部抜粋して講義を実施 ①人材育成に役立つコーチングとフィードバックの基本 ②上司・外部とのコミュニケーション マネジャーが知っておくべき労働関連法規 ③マネジャーが身につけるべき論理的思考	学外講師 1名	3日間のべ 43名 参加	4.4



社会保険労務士試験対策講座の様子 (左：講師、右：手話通訳)

※いずれの講座についても、文字通訳は参加者各自が Web 会議システムとは別のインターネットブラウザを立ち上げて閲覧する形のため、講義の配信画面には反映されておりません。

(2) 聴覚障害学生への支援

① 「就職セミナー（インターンシップ説明会）」への開催協力

※筑波技術大学 聴覚障害系就職委員会の主催

当事業からは、参加学生向け事前講座への講師派遣、説明会当日の運営協力を行いました。

開催日程： 2021年5月26日(水) 14:40 - 17:40

開催方法： Zoom を使用したオンライン開催

参加者： 企業 16 社、筑波技術大学学生 51 名

概要：

- ・2021年5月19日(水) 参加学生向け事前講座
 - …オンライン面接における基本的マナーや参加する上での準備・心構え等に関する講話を行った。
- ・2021年5月26日(水) 説明会当日
 - …参加企業を4グループに分け（Zoomのブレイクアウトルーム機能を活用）、学生が事前アンケートに答えた内容にもとづいて希望するグループを訪問する形で行った。

情報保障：

各参加企業が独自に実施（手話の出来る社員の方が話す、説明内容を別の社員の方がチャットに打ち込む、背景スライドに話す内容を細かく記載する、手話通訳を配置する、等）。

②「キャリア支援セミナー」の開催

※筑波技術大学 聴覚障害系就職委員会との共催

開催日程： 2021年12月20日(月) 10:30 - 12:00

開催方法： Zoomを使用したオンライン開催

参加者： 筑波技術大学学生 26名

概要：

講師に高砂熱学工業株式会社の森香緒里氏（筑波技術大学卒業生）をお招きし、就職活動のエピソードや就職後の仕事内容、キャリア形成などの体験についてお話しいただいた。

情報保障：

講師が声で話す他、手話通訳・文字通訳を配置（通信環境によっては講師の手話が途切れてしまう可能性があることや手話の読み取りが苦手な学生がいることを考慮し、手話と文字という複数の伝達手段を手配した）。

③「先輩の話を聞く会」の開催

※筑波技術大学 聴覚障害系就職委員会との共催

開催日程： 2022年1月24日(月) 10:30 - 12:00

開催方法： Zoomを使用したオンライン開催

参加者： 筑波技術大学学生 25名

概要：

講師に鳥取市保健所の須崎幸一氏（筑波技術大学卒業生）をお招きし、就職活動のエピソードや就職後の仕事内容、周囲の障害理解などの体験についてお話しいただいた。

情報保障：

講師が声で話す他、手話通訳・文字通訳を配置（通信環境によっては講師の手話が途切れてしまう可能性があることや手話の読み取りが苦手な学生がいることを考慮し、手話と文字という複数の伝達手段を手配した）。

④「カタリバ」への学生参加者受け入れ

【参照】p.6 (1) 社会人聴覚障害者への支援 ②「カタリバ」の開催

第4回「カタリバ」を筑波技術大学・他大学の現役学生も参加可能な場とし、ITエンジニアの仕事に関心のある学生がエンジニアの方々と対話できる機会をもちました。

⑤相談対応

当事業担当者 1 名がキャリアサポーターとして、筑波技術大学の聴覚障害学生の進路相談・就職活動支援（履歴書添削、面接練習、障害特性の整理、等）を行っております。

対応実績： 対面相談 63 件
テレビ会議システムを用いた遠隔相談 70 件
メールを用いた相談 66 件

(3) 企業への支援

①「就職セミナー（インターンシップ説明会）」の開催

【参照】 p.9 (2) 聴覚障害学生への支援 ①「キャリア支援セミナー」への開催協力

②「大学等を卒業した聴覚障害者の就労に関する産学連携シンポジウム」への開催協力

※筑波技術大学 聴覚障害系就職委員会の主催

本シンポジウムは、企業の人事・採用担当者や本学学生・教職員を対象とし、大卒聴覚障害者の就労時において起こる課題の改善策や、学生自身が就労前に準備すべき事柄を探ることを目的として、筑波技術大学が毎年開催しております。今回は Zoom ウェビナーによる講演と Zoom ミーティングによるワークショップの 2 部構成で「就労場面での聴覚障害者とのコミュニケーション」をテーマとして実施しました。

当事業からは、開催当日の配信管理やワークショップにおけるファシリテーターの派遣等への協力を行いました。

開催日程： 2021 年 12 月 10 日 (金) 13:30 - 16:30

開催方法： Zoom ウェビナー、Zoom ミーティングを使用したオンライン開催

参加者： 企業関係者 48 社 63 名
筑波技術大学学生 20 名

概要（当日プログラム）：

《第 1 部》社内での事例や卒業生の活躍状況の紹介

講師：奥田紗野華氏(株) NTT データ MSE)、松本敬介氏(株)オカムラ)、和多田幸夫氏(株) LIXIL)

《第 2 部》ワークショップ

「①初めての聴覚障害者とのコミュニケーション」、「②聴覚障害者との対面でのコミュニケーション」、「③最新 IT ツールを利用したオンラインディスカッション」、「④企業間情報交換会」の 4 つのテーマに分かれて交流を図った (Zoom ミーティングのブレイクアウトセッションを利用)。

情報保障：

第 1 部には手話通訳・文字通訳を配置。第 2 部では、ファシリテーター（筑波技術大学教員）がコミュニケーションサポートを行う他、手話通訳・文字通訳が必要なグループに配置された。

③聴覚障害理解研修の実施

筑波技術大学卒業生（聴覚障害）を雇用している企業からの依頼を受けて、2021年8月に聴覚障害者雇用に関する理解啓発研修を実施しました。

4. 拠点の整備

当事業ホームページはこちら！

⇒ <https://tsukutech-social.net/site/>



(1) 当事業ホームページの拡充

昨年度開設したホームページ（<https://tsukutech-social.net/site/>）のトップページに、カレンダー機能を追加するなど閲覧者が求める情報にたどり着きやすいよう拡充を行いました。

(2) SNS の活用

2020年9月に開設した、当事業のLINE公式アカウントの友だち登録者数は2022年3月31日現在で77名となりました。

LINE 公式アカウント ID : @824fhwoj

(※名称：聴覚障害者のためのキャリアサポート)



(3) 相談記録システムの開発・運用

当事業で行った相談対応の実績管理のため、相談記録システムを開発し、運用を開始しました。

ID	氏名(相談者)	対応者	問い合わせジャンル	問い合わせ日	問い合わせ内容	対応日	対応内容	対応に使った時間	現在の対応状態	対応方法	相談回数(回目)	詳細	続き記入	修正	削除
39			保護者との関わりについて、就労支援施設の利用について					1.5	対応中	オンライン (Zoom等)	20	詳細	続き記入	修正	削除
38			新規就職について					0.5	対応中	オンライン (Zoom等)	15	詳細	続き記入	修正	削除
37			新規就職について					0.5	対応中	オンライン (Zoom等)	14	詳細	続き記入	修正	削除
36			新規就職について、保護者との関わりについて、就労支援施設の利用について					2	対応中	オンライン (Zoom等)	19	詳細	続き記入	修正	削除

(4) メールマガジン配信・ピアサポーター登録システムの開発

当事業のイベント情報等をメールマガジンとして配信するため、また当事業への協力者をピアサポーターとして登録するためのシステムの開発・修正を進めております。

5. 令和4年度事業について

(1) 実情調査の実施

2021（令和3）年度は新型コロナウイルス感染症の影響が引き続いてきたことから、交流・学びの機会となるイベントの拡充に注力したため、調査の規模は縮小傾向でした。2022（令和4）年度は、「聴覚障害者のためのキャリアサポート拠点」の拡大を具体的に進めるため、関係各署へのヒアリング・相談を進めてまいります。

(2) 社会人聴覚障害者への支援

今年度はライフ&キャリアサポート講座や「カタリバ」の拡充に努めた結果、講座の受講者は前年度比約2倍、カタリバの開催回数は2倍、参加者のべ人数は約1.5倍となりました。2022（令和4）年度は、これまでの講座・イベント開催で培ったノウハウを活かして、e-learning教材の作成等も検討してまいります。

(3) 聴覚障害学生への支援

筑波技術大学の在学生の支援に関しては、引き続き大学内の各組織と連携しながらイベント開催や相談対応を行う他、当事業で学生をインターンシップとして受け入れることを検討します。また、2022（令和4）年度は対象を他大学の学生にも広げて、相談対応やイベント企画を実施します。

(4) 企業への支援

2022（令和4）年度は、引き続き各種イベントを開催していくと共に、相談窓口の周知を進め、より多くの個別の相談支援が受けられるよう、体制の整備を進めてまいります。また、音声認識ツールの活用方法についての関心が高いことを受けて、当事業として機材や各種ツールの試用を進め、会議等への参加人数や予算等に合わせた活用方法に関するマニュアルの作成を進めます。加えて、就労移行支援事業所等と連携して、当事業独自の新規イベントの立ち上げを検討しております。

(5) 拠点の整備

2022（令和4）年度は、今年度開発した相談記録システムやピアサポーター登録システム、メールマガジン配信システム等の効果的運用を目指します。

**日本財団助成事業「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」
令和3年度活動報告書**

執筆・編集：

筑波技術大学 産業技術学部	河野 純大
障害者高等教育研究支援センター	後藤 由紀子
産業技術学部	石田 祐貴
産業技術学部	松谷 朋美

事業担当者：

河野 純大、加藤 伸子、白澤 麻弓、小林 彰夫、安 啓一、横井 聖宏、
後藤 由紀子、田中 陽土

発行：

日本財団奨学寄付金
「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」事業 つくば拠点
〒305-8520 茨城県つくば市天久保 4-3-15
国立大学法人筑波技術大学 総合研究棟 R207 室
TEL, FAX: 029-858-9021 E-mail: career_support@tsukutech-social.net

発行日：

令和4年4月